

令和2年第1回定例会 ～本会議2日目 代表質問 令和2年3月6日～  
議事録（抜粋）

※質疑応答をまとめています。

質問項目 **みんなが安全で快適に暮らせるまちづくりについて**

質問者 自民党・市民の会 幹事長 嶋野浩一朗（同会派メンバー 光好博幸、松本暁彦）

○嶋野浩一朗議員

まずは、「まちごと・丸ごと防災」の更なる推進についてお聞きをいたします。

次年度から危機管理の専門の部署が配置をされるということでございます。この点につきましては我が会派でも要望をしまいましたが、今回、改めてその専門部署が設置をされる、その意義についてお聞かせいただきたいと思っております。

○森山市長

機構改革により防災危機管理課を設置することの狙いがございますけれども、安心・安全は、まちづくりのイロハのイ、基本中の基本でございます。私は、市長就任以来、一貫して安心・安全のまちづくりを推進してまいりましたが、昨今の自然災害の頻発と激甚化に加え、吹田市での警察官襲撃事件など、日々の暮らしを脅かす凶悪犯罪なども発生いたしております。そこで、安心・安全なまちづくりに向け、防災部門と防犯部門を統合し、新たに防災危機管理課を創設することで、防災・防犯体制の充実強化を図ってまいります。

また、一昨年のおおさか北部地震や台風21号の教訓から、有事の際は、他の部署の先頭に立ち、組織横断的にリーダーシップを発揮できるよう、災害対策本部の機能向上を図り、市民の皆様方の安心・安全を一層担保してまいりたいと思っております。

○嶋野浩一朗議員

それから、まちごと・丸ごと防災の中で、危機管理の専門部署をつくるということでお話をいただきました。これは、我が会派の松本議員がいろいろこの点については思いを持って提案をしているわけがございますけれども、答弁の中で、有事の際には先頭に立つんだということがございます。ぜひ、そこについては強く期待をしておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それと、今回、2回目にお聞かせいただきたいのは、一昨年に大阪北部地震が起きました。そのときに皆さんも本当にいろいろご苦労いただいたわけがございます。そこについては、私は評価もしているところはあるんですけども、しかし、必ず反省もあるわけですよね。その反省を、次、どのように生かされたのか。防災計画をつくられたわけがございます。今、これから市民の皆さんのご意見もお聞きしていこうという段階でございますけれども、改めて、どのように教訓を生かしていかれたのか、この際、お聞かせいただきたいと思っております。

○井口総務部長

一昨年のおおさか北部地震の対応におけます課題と対応ということのご質問についてお答えをさせていただきます。

大阪北部地震の検証結果から明らかとなりました課題といたしましては、初動期における役割の認識不足でありますとか、災害対応業務が特定の班に集中したことなどにより、災害対応に当たる職員

の確保、また、業務量の均衡が図れていなかったことなどがございます。

そこで、避難所での初期対応を確認する訓練を実施いたしますとともに、現在改訂を進めております地域防災計画の中で、各班に属する課の編成を見直し、災害対応の進捗状況に応じて班の職員数を臨機応変に組みかえることができる組織体制に改めるなど、効果的で有機的な体制づくりに現在取り組んでおるところでございます。この新たな班体制のもと、より実践的な訓練を積み重ねることで、市内の防災力の向上を図ってまいりたいと考えております。

#### ○嶋野浩一朗議員

続きまして、まちごと・丸ごと防災のことがございますけれども、これは要望とさせていただきますけれども、一昨年、我々は大阪北部地震を経験いたしました。そのことをしっかりと教訓として、それを土台にして、やはり今後どうあるべきなのかということについて危機管理を専門とする部署を構築していく、そのことが前進につながるわけがございますので、しっかりとそこは引き継いでいただきたいと考えております。

また、今、パンデミック一歩手前の状況に我がまちも直面していると私は思っております。こういった点についても、やはり危機管理という点では、しっかりとどう対応していくのか、今回のことを教訓としながら、またさらなるパンデミック強化ということについても、これはよろしくお願いをしたいと考えております。